

◆第1回各務原市都市計画マスタープラン策定委員会の概要

開催日時	令和6年10月3日(木) 14時00分~15時35分		
開催場所	各務原市産業文化センター 8階第2特別会議室		
出席者	学識経験を有する者	市民または市内の事業所に勤務する者	市職員
	服部 敦(委員長) 川口 暢子(副委員長) 萩原 拓哉	土田 周策 石垣 時弘 江口 克己 渡邊 辰巳 永田 美帆 大野 雅尚	大矢 貢 村瀬 誠 中村 俊夫
次第	1 開会 2 委嘱状交付 3 市長挨拶 4 委員長・副委員長選出 5 委員長挨拶 6 諮問 7 議事 (1) 委員会の運営について (2) マスタープラン策定の進め方について (3) 現況及び課題整理 (4) 市民アンケートについて 8 その他 9 閉会		
	配布資料	参考 各務原市附属機関設置条例(抄) 資料1 策定委員会の運営について(案)・傍聴要領(案) 資料2 都市計画マスタープラン改定方針 資料3-1 各務原市の現状及び課題整理 資料3-2 改定にあたっての課題 資料3-3 補足資料 資料4 市民アンケートについて(概要)・調査票 参考資料 各務原市都市計画基礎調査 解析報告書(R6.3)	



【主な意見】

【対応方針】

1 マスタープランの改定方針について

〈意見①〉
今後の進め方に関して、検討するにあたり、構成案を提示し、それがどの箇所を検討しているのか次回以降示してほしい。

1 マスタープランの改定方針について

〈対応①〉
今回と次回以降にご議論いただく内容をわかるように、次期都市計画マスタープランの全体構成をお示しします。
→議事(1)・資料2参照

2 各務原市の現状および課題について

〈意見②〉
現状の課題は人口、産業、土地利用、交通、安心安全、都市の持続的発展、この項目すべてなのかも含め検討する必要がある。前回の都市計画マスタープランでは、もう少し様々な項目があったように感じる。課題の整理の仕方が今後の構成にもつながっていくのではないかと。

2 各務原市の現状および課題について

〈対応②〉
現状と課題の整理にあたっては、第1回策定委員会でお示した重点課題の他、現行計画で定めた施策の進捗状況、市民アンケート等を踏まえ整理します。
第1回策定委員会では人口、産業、土地利用、交通、安心安全、都市の持続的発展の5つの視点で社会的課題、各務原市の課題を整理し、ご意見を伺いました。その後実施した現行計画の進捗状況の確認(資料3-1参照)や市民アンケート結果(資料4参照)を踏まえ、改めて各務原市の良さ・強みを含め、現状と課題を整理しました。
次期都市計画マスタープランでは、現状との課題の整理に加え、これまでの市の成り立ちなどの歴史的な背景や、まちづくりの経緯等を踏まえ、各務原市の強みと弱みを整理し、**強みを伸ばす施策、弱みを克服する施策を推進**し、各務原市の特徴を活かした都市づくりを進めていきたいと考えています。
→議事(4)・資料5参照、議事5・資料6参照

〈意見③〉
各務原市の課題を深めていけるよう事務局で検討をお願いしたい。

〈意見④〉
各務原の良さが何かを再確認すべきではないかと感じた。各務原市内の歴史的な位置づけ・背景等から拾い上げられる施策があるのではないかと。

〈意見⑤〉
耐震の対策等、現在各施策がどの程度施策が進められているのか示して欲しい。

〈対応③〉
現行計画で定めた都市整備の方針に基づき実施した施策の進捗状況を確認し、整理しました。→議事(2)・資料3-1参照

〈意見⑥〉
産業に関して、市内企業にヒアリングするとまだまだ業務拡大や、工業地の拡大を希望される声が届いているのが現状。よって重要な課題となってくると考える。

3 次期都市計画マスタープランでの検討事項について

〈対応④〉
産業の面では、本市の交通結節点としての利便性を活かした産業用地の確保等、別途庁内で検討を進めている工業用地適地選定検討の結果等と整合を図りつつ、施策を検討します。

〈意見⑦〉
現在人口が年に約1,000人以上減少している状況で、10年間の計画とはいえこれからの30年、40年後の将来も踏まえ、人口減少を前提に計画をつくっていかねばいけないと考えている。

〈対応⑤〉
少子高齢化や人口減少を踏まえ、立地適正化計画と整合を図り、コンパクトプラスネットワークのまちづくりを推進します。